「子どもの虐待とネグレクト」投稿規定

1．子どもの虐待・ネグレクト防止に関連する医療，保健，福祉，行政，司法等の研究，事例，調査，資料など，原則として未発表の論文を掲載します。幅広い分野からの投稿を歓迎します。

2．原稿の採否と掲載順は編集委員会で決定します。その際，論文は編集委員会による審査を受けることを原則とします。

3．投稿される原稿では，以下の要件のうち一件以上を満たし，その旨を，原稿本文中に，「倫理的配慮」等の項目を設け記載してください。ただし，すでに学術的な価値が定まり，研究用として広く利用され，かつ一般に入手可能な試料・情報を用いた研究である場合は，倫理審査委員会は原則不要です。

①大学，研究機関等の研究倫理審査委員会の承認を得ること

②研究対象者・機関等からインフォームド・コンセントを得ること

③事例や症例の提示に関しては，匿名性の確保を徹底すること

なお，上記②の場合，編集委員会が必要と判断した際には，同意書等を提出していただくことがあります。

また，上記②と③の場合，編集委員会が必要と判断した際には，編集委員会として研究倫理審査を実施することがあります。

4．投稿原稿は，［研究報告］［事例研究］［総説］［短報］［資料］［活動報告］に分類し，掲載されます。それぞれ以下に定める規定にしたがって執筆し，ご投稿ください。

［研究報告］（原著論文）

①論旨の明快な，独創性に富む未発表の論文に限ります。

②通常の形式（はじめに〔緒言〕・目的・対象および方法・結果・考察・結語・文献）に則って執筆してください。

③表題，執筆者全員の氏名・所属機関それぞれの英文表記を併記してください。また，400 字前後の和文抄録とそれに対応する英文抄録，4 ～ 5 個のキーワード（和文，英文）を必ずつけてください。英文については編集委員会による校閲がありますが，あらかじめ適切な方のチェックを受けてからご投稿ください。

④原稿分量は，図表を含め 400 字詰め原稿用紙にして 30 枚（12,000 字）までとします。図表は仕上がりの大きさを見込んで，文字数に換算してください。原則，文献は文字数に含みます。

⑤ワードプロセッサー（パソコン）を用い，A4 判の用紙（40 字× 30 ～ 40 行）に横書きで印字してください。

⑥１ページ目に，掲載を希望する欄，ならびに表題，執筆者名，所属，英文表題，英文執筆者名，英文所属を明記してください。ただし，掲載される欄は編集委員会の決定により変更されることがあります。

⑦引用文献，参考文献は「文献」として，筆頭著者のアルファベット順（同一著者は発表年号順，同一年の場合は年号にａ，ｂ，ｃ……を添える）に配列して論文の末尾に記載してください。本文の該当個所には（著者名，年号）の形で文献を指示してください。

〈雑誌論文の場合〉

著者名（年号）論文名．誌名（略記はもちいないこと），巻；通巻頁（通巻頁を採用していない雑誌に限り，巻(号)；頁）。（頁は初めと終りを記載すること）

〈単行本の場合〉

著者（年号）論文名または書名．（必要に応じて）編者名，書名，（一部引用の場合，該当頁数），発行所，発行地（国内の場合は不要）。

〈報告書，公官庁の刊行物，インターネット上の文書など〉

できる限り上記の雑誌論文，単行本の記載法に準じ，かつ読者が確実に文献を特定できるような記載をすること。

〈文献記載上の注意点〉

・文献欄では，著者名は，３名以内は全員を，4名以上の場合は３名までを列記しそれ以上は和文では「，他」，欧文では“et al.”とする。欧文の場合，姓は全文，名はイニシャルのみ。

・本文中では，著者２名までは全員記載し，３名以上は筆頭著者名のみを記載し，他は和文では「ら」，欧文では「et al.」とする。

・欧文の単行本で邦訳のある場合は，続けて（　）内に訳者名（年号）邦題．発行所を記載する。翻訳を引用参照している場合でも，必ず原著を示すこと。

記載例（本文中）

・……佐藤ら（1995）の報告……

・……過去の研究（Edleson et al., 2003）によれば……

記載例（文献欄）

（和文雑誌例）

佐藤千穂子，内藤剛彦，中舘尚也，他（1999）医療機関で発見された虐待事例――再発防止への取り組み．子どもの虐待とネグレクト，1; 48-53.

（欧文雑誌例）

Edleson, J.L., Mbilinyi, L.F., Beenabm, S.K. et al.（2003）How children are involved in adult domestic violence: Result of a four-city telephone survey. Journal of Interpersonal Violence, 18; 18-32.

（和文分担執筆例）

斎藤　学（1998）児童虐待というトラウマ．（斎藤　学編）児童虐待〔臨床編〕，pp.15-29, 金剛出版.

（欧文分担執筆例）

Zillmann, D. & Bryant, J. (1984) Effects of massive exposure to pornography. In Malamuth, N.M. & Donnerstein, E. (eds.) Pornography and Sexual Aggression, pp. 115-138, Academic Press, New York.

（翻訳文献例）

Herman, J.L. (1992) Trauma and Recovery. Basic Books, New York.（中井久夫訳（1996）心的外傷と回復．みすず書房）

（インターネット文献例）

厚生労働省（2007）平成18年度・児童相談所における児童虐待相談対応件数等（平成18年度社会福祉行政業務報告）．http://www.mhlw.go.jp/bunya/ kodomo/dv16/index.html (Retrieved 2007. 12. 28).

（報告書例）

犬塚峰子（2005）虐待を受けた子どもの心理診断のための半構造化面接法の開発．平成16年度厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）児童福祉機関における思春期児童等における心理アセスメントの導入に関する研究（主任研究者西澤　哲）報告書，pp.5-11.

⑧著者校正は原則として１回のみとします。

［事例研究］（原著論文）

①一事例もしくは複数事例に関する分析で，臨床的活用性および独創的な知見を含む未発表の論文に限ります。

②通常の形式（はじめに〔緒言〕・目的・事例の概要・治療（面接・支援など）の経過・考察・結語・文献）に則って執筆してください。複数事例の場合には，上記を参考に論文の目的等に応じて構成してください。

③守秘義務に抵触しないための適正な手続きを経た論文に限ります。

④その他は，［研究報告］の③～⑧に準じます。

［総説］（原著論文）

子どもの虐待にかかわる問題で，最近の国内外の研究・報告の知見等を総論的に記述したもの，もしくはそれに基づいて筆者のオリジナルな見解を展開したもの。投稿規定は［研

究報告］の③～⑧に準じます。

［資料］

調査報告等，資料として価値があると判断されるもの。投稿規定は，［研究報告］の④～⑧に準じます。抄録・キーワードは和文・英文ともに掲載されませんが，表題・執筆者名・所属機関の英文表記は必ずつけてください。

［短報］

臨床，実践活動における試みや気づきなどを試論的または速報として報告したもの。投稿規定は［研究報告］の⑤～⑧に準じます。原稿枚数は12枚までとします。抄録・キーワードは和文･英文ともに掲載されませんが，表題・執筆者名・所属機関の英文表記は必ずつけてください。

［活動報告］

子どもの虐待にかかわる支援の現場での活動や実践的取り組みについて報告したもの。投稿規定は，［研究報告］の⑤～⑧に準じますが，形式は自由で，原稿枚数は12枚までとします。抄録・キーワードは和文・英文ともに掲載されませんが，表題・執筆者名・所属機関の英文表記は必ずつけてください。

［その他］

上記に分類されない原稿の投稿をご希望の場合は，編集部にご相談ください。採否を編集委員会で検討いたします。

5．投稿者（筆頭執筆者）は日本子ども虐待防止学会の個人会員であること。共同執筆者も会員であることが望まれますが，非会員であっても許容とします。当会入会のお申し込み，お問い合わせにつきましては，「入会申し込み方法」の頁をご覧下さい。

6．採用原稿については，掲載誌を１部謹呈します。仕上がりにして４頁以上のものについては，別刷30部を無料でお作りします。それ以上ご希望の場合，また３頁以下の場合は，有料となります（１部220円，30部単位）。

7．掲載された論文の著作権は，著者に帰属します。ただし，掲載論文を保存し，そのまま，あるいは編集して公表するなどの二次的使用権は，学会が著者と重複して保持し，これによって利益が生じた場合は会員の寄贈に基づき学会に帰属するものとします。

8．投稿された原稿は原則として返却いたしません。

9．図版のカラー印刷など通常の制作費を大幅に超える場合は，編集委員会が必要と判断したものに限り，執筆者が費用を負担することを条件にカラーでの掲載を認める場合があります。

投稿送付先

（株）誠信書房
「子どもの虐待とネグレクト」編集室
〒112-0012　東京都文京区大塚3-20-6
Tel：03-3946-5669　Fax：03-3946-2296
e-mail　jjcan@seishinshobo.co.jp

＊投稿原稿は原則としてe-mailでお送りください。メール本文には執筆者連絡先（住所，電話）を明記してください。e-mailでお送りいただけない場合は，CDやUSBメモリ等を送付してください。

＊図表写真のデータがある場合は，必ず元データ（エクセル，パワーポイント，画像データ等）を添付してください。